

「夢ある農業応援団!」



株主の皆さまへ

≫ 第 **90** 期 ≪

中間(第2四半期)報告書

平成25年4月1日 ▶ 平成25年9月30日

Contents

連結決算のポイント……………	1
ごあいさつ……………	2
財務ハイライト……………	3
トピックス「夢ある農業応援団! ISEKI」…	5
会社の概要及び企業集団・役員・株式の状況…	6

井関農機株式会社

連結決算のポイント 第90期中間期(第2四半期)

売上高 **82,496**百万円 
前年同期比 2,061百万円(2.6%)増

▶うち国内 **69,411**百万円 
前年同期比 33百万円(0.0%)減

▶うち海外 **13,085**百万円 
前年同期比 2,095百万円(19.1%)増

営業利益 **4,166**百万円 
前年同期比 65百万円(1.6%)増

経常利益 **4,892**百万円 
前年同期比 1,069百万円(28.0%)増

四半期純利益 **3,168**百万円 
前年同期比 133百万円(4.4%)増

売上高

国内：経営所得安定対策の定着などによる農家所得の改善や、復興事業や補助事業などの大型予算を背景とした旺盛な需要により、農業機械、作業機が増加。施設工事は、前年同期には大型施設工事の完工があったことから減少。

海外：昨年から出荷を開始した、北米向けの新商品投入が寄与し、増加。

営業利益・経常利益

営業利益：開発費や設備費などの固定費の増加に加え、物流費や人件費等の販管費の増加があったものの、増収及び円高修正による収益改善効果より、増加。

経常利益：為替差益の発生等により、増加。

国内売上高の内訳(億円)				海外売上高の内訳(億円)			
	25/3期 第2四半期 累計	26/3期 第2四半期 累計	増 減		25/3期 第2四半期 累計	26/3期 第2四半期 累計	増 減
農業機械	337	345	+8	北米	27	49	+22
作業機・部品	165	186	+21	欧州	21	19	△2
施設工事	55	22	△33	中国	43	47	+4
その他農業関連	136	141	+5	その他アジア	6	5	△1
農業関連事業計	693	694	+1	豪州他	3	2	△1
その他事業	1	0	△1	製品計	100	122	+22
国内計	694	694	0	補修部品・その他	10	9	△1
				海外計	110	131	+21

ごあいさつ

株主の皆様におかれましては、平素より格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

第90期中間期（第2四半期）の概況をとりまとめましたので、ご報告申し上げます。

株主の皆様におかれましては、引き続き一層のご支援ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

平成25年12月



取締役社長

木村 典之

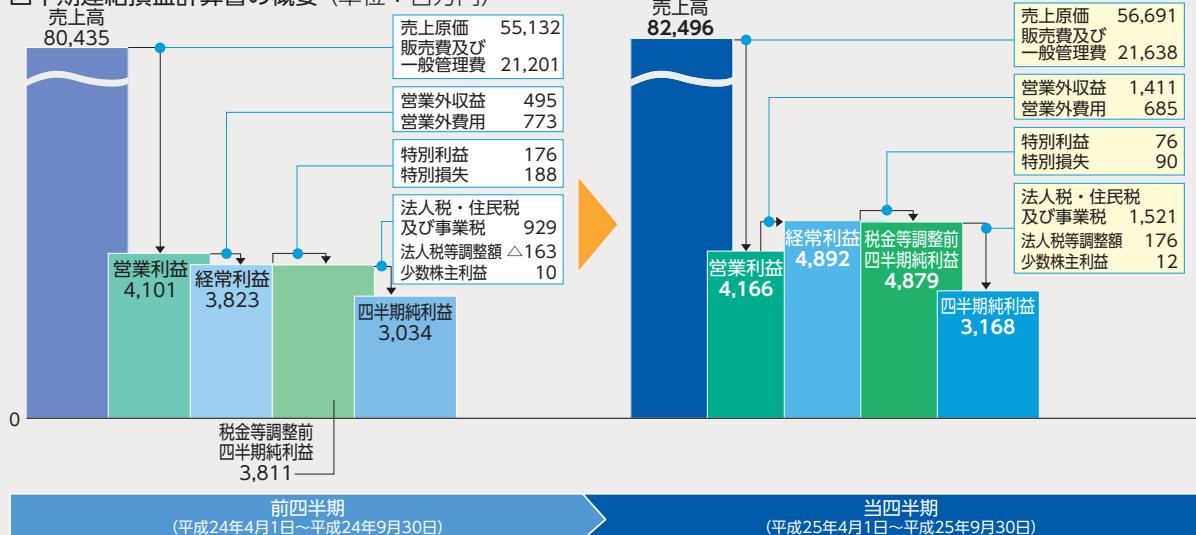
当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、経済政策や金融緩和への期待感から、株価の回復や円安基調等、緩やかに回復しつつあるものの、海外景気の下振れに対する懸念等により、国内景気を下押しするリスクを抱えた状況であり、実体経済は依然として不透明な状況が続きました。

このような状況の中、当社グループは、国内においては新型機の投入や顧客対応の充実を図り、販売量の拡大に努めました。また、海外においては北米向けOEM商品に新機種を投入するなど拡販に努めた結果、当社グループの連結経営成績は以下のとおりとなりました。

当第2四半期連結累計期間の売上高は、前年同期比20億6千1百万円増加し824億9千6百万円（2.6%増加）となりました。国内売上高は、前年同期比3千3百万円減少し694億1千1百万円（0.0%減少）となりました。海外売上高は、前年同期比20億9千5百万円増加し130億8千5百万円（19.1%増加）となりました。営業利益は、開発費や設備費などの固定費の増加があったものの増収及び円高修正の収益改善効果などにより、前年同期比6千5百万円増加し41億6千6百万円（1.6%増加）となりました。経常利益は、為替差益の発生等により前年同期比10億6千9百万円増加し48億9千2百万円（28.0%増加）となりました。四半期純利益は、前年同期比1億3千3百万円増加し31億6千8百万円（4.4%増加）となりました。

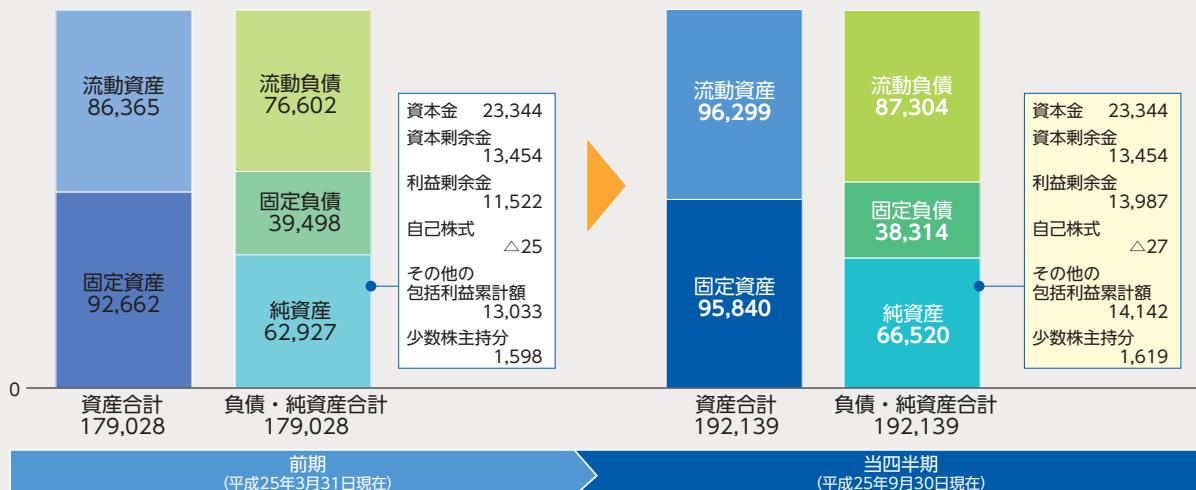
財務ハイライト

四半期連結損益計算書の概要 (単位：百万円)

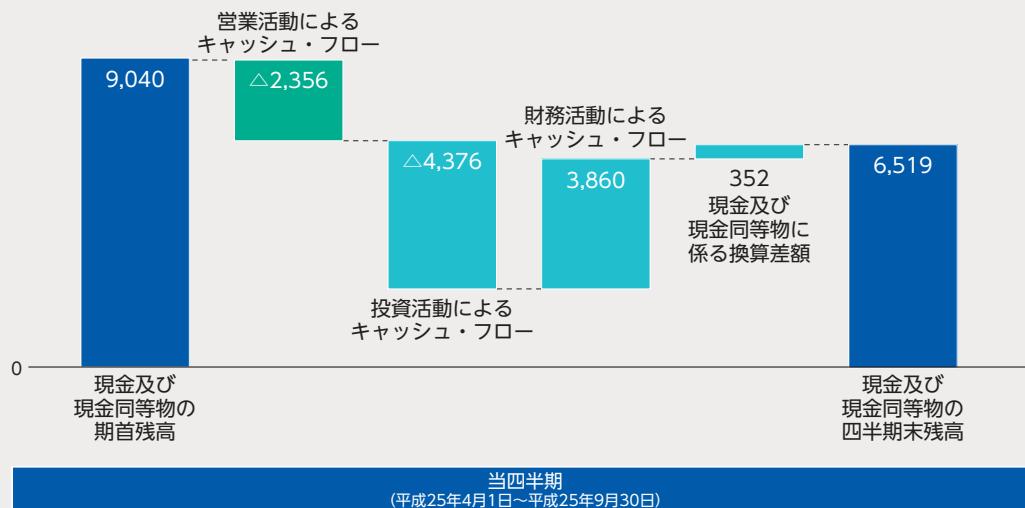


3

四半期連結貸借対照表の概要 (単位：百万円)



四半期連結キャッシュ・フロー計算書の概要 (単位：百万円)



連結財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ131億1千万円増加し1,921億3千9百万円となりました。主に、受取手形及び売掛金の増加111億5千6百万円、たな卸資産の増加18億8千2百万円によるものがあります。負債の部では、前連結会計年度末に比べ95億1千8百万円増加し1,256億1千9百万円となりました。主に、支払手形及び買掛金の増加28億5千1百万円、短期借入金及び長期借入金の増加53億7千2百万円によるものがあります。純資産の部では、前連結会計年度末に比べ35

億9千2百万円増加し665億2千万円となりました。主に、四半期純利益31億6千8百万円の計上により利益剰余金が増加したことによるものであります。

トピックス 「夢ある農業応援団! ISEKI」

日本農業は農家の高齢化や耕作放棄地の拡大等の多くの課題を抱えています。その一方で、建設や大手流通、生活協同組合等の異業種から農業参入する企業が相次いでおり、その数は年々増加しています。『夢ある農業応援団』を掲げる当社は、CSR活動の一環として、各地で耕作放棄地の再生、過疎地の活性、農業参入企業の営農指導等の支援に取り組んでおり、その活動の一端をご紹介します。

山口県の耕作放棄地再生への支援

「グリーンコープやまぐち」では、県内にある耕作放棄地の再生に取り組んでおり、復田した耕作放棄地で、もち米と大豆を栽培しています。復田技術からもち米の疎植栽培技術、『300A技術※』による大豆栽培技術まで、全て中セキ中国山口支社と当社の夢ある農業応援プロジェクト推進部が指導を行なっています。収穫した大豆は、豆腐や他の商品への加工販売を考えており、6次産業への参入を計画しています。グリーンコープの描く夢は、6次産業への参入に留まらず、農場の観光農園化、新規農業者への研修等、非常に大きなもので、これらの夢を実現すべく、私たちはこれからも『夢ある農業』をサポートし続けます。



ストーンピッカーによる石除去作業



大豆の防除（大豆300A技術である「耕うん同時畝立て播種技術」を指導しています）

※『300A技術』とは、単位面積当たりの収穫量（単収）が不安定となる要因の湿害を回避する耕起・播種技術です。また、『300A』の『300』は、10アール当たりの収穫量が300kg。『A』は、品質Aクラス（1,2等級）を意味し、高品質・多収穫を目標として表現しています。

和歌山県の耕作放棄地再生への支援

和歌山県では、農村地域の地産地消の推進や地域の景観保全等を目的とする県の事業「企業のふるさと」制度に参画し、橋本市の中山間地にある西畑地区の『畑ごんぼ』の復活に向け活動しています。西畑地区では、江戸時代から、太く香り豊かなゴボウ『畑ごんぼ』を特産品として栽培していました。京阪地域で貴重品として扱われ、農家の大きな収入源となっていました。収穫作業等が大変な重労働のため、昭和初期には廃れてしまいました。過疎が進み耕作放棄地が増えている西畑地区の活性化のため、80年ぶりの畑ごんぼを復活させ、加工品の販売を開始しました。私たちは本年4月から耕作放棄地の再生や収穫作業の課題解決に向けた、機械体系による省力栽培を提案し、畑ごんぼの栽培実証を行なっています。



耕作放棄地の変化

会社の概要及び企業集団

(平成25年9月30日現在)

■会社概要

社名	井関農機株式会社
本社	愛媛県松山市馬木町700番地
本社事務所	東京都荒川区西日暮里5丁目3番14号
創立	大正15年8月
資本金	233億4,474万円
事業内容	当社はつぎの製品の製造および販売を主要な事業内容としております。
整地用機械	トラクタ、耕うん機、乗用管理機、芝刈機
栽培用機械	田植機、野菜移植機
収穫用機械	コンバイン、バインダ、ハーベスタ
調製用機械	籾すり機、乾燥機、精米機、計量選別機、野菜収穫調製機
その他	作業機、補修用部品、農業用施設

■主要な事業所

①当社

名称	所在地
本社	愛媛県松山市
本社事務所	東京都荒川区
砥部事業所	愛媛県伊予郡
熊本事業所	熊本県上益城郡
技術ソリューションセンター	茨城県つくばみらい市
中央研修所	茨城県つくばみらい市
茨城センター	茨城県稲敷郡
関西事業所（インプル）	滋賀県近江八幡市

②子会社

名称	所在地
株式会社中セキ北海道	北海道岩見沢市
株式会社中セキ東北	宮城県岩沼市
株式会社中セキ関東	茨城県稲敷郡
群馬中セキ販売株式会社	群馬県前橋市
株式会社中セキ信越	新潟県新潟市
株式会社中セキ北陸	石川県金沢市
株式会社中セキ東海	愛知県安城市
三重中セキ販売株式会社	三重県津市
株式会社中セキ関西	兵庫県加古川市
株式会社中セキ中国	広島県東広島市
株式会社中セキ四国	愛媛県伊予市
株式会社中セキ九州	熊本県上益城郡
株式会社ISEKIアグリ	東京都荒川区
株式会社井関松山製造所	愛媛県松山市
株式会社井関熊本製造所	熊本県上益城郡
株式会社井関新潟製造所	新潟県三条市
株式会社井関邦楽製造所	愛媛県松山市
井関農機（常州）有限公司	中国江蘇省常州市
PT. ISEKI INDONESIA	インドネシア東ジャワ州 ルンバン市
株式会社井関松山ファクトリー	愛媛県松山市
株式会社井関植木製作所	熊本県熊本市
株式会社井関重信製作所	愛媛県東温市
北日本床土株式会社	北海道上川郡
株式会社井関物流	愛媛県松山市
株式会社ISEKIトータルライフサービス	東京都荒川区

(注) システム機器株式会社は平成25年9月26日付で清算終了しております。

役員 (平成25年9月30日現在)

取締役会長(代表取締役)	南 健治	取締役	新 真司
取締役社長(代表取締役)	木村 典之	取締役	岩崎 淳
専務取締役(代表取締役)	多田 進	常勤監査役	安永 紀雄
専務取締役(代表取締役)	菊池 昭夫	常勤監査役	棚谷 俊文
専務取締役(代表取締役)	木下榮一郎	常勤監査役	亀川 正晴
常務取締役	真木 康則	常勤監査役	木元 誠剛
常務取締役	豊田 佳之	監査役	田中 省二
常務取締役	鎌田 寛		

(注) 1.取締役岩崎淳氏は、会社法第2条第15号に定める社外取締役であります。
なお、当社は、同氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
2.常勤監査役安永紀雄、常勤監査役棚谷俊文、常勤監査役木元誠剛ならびに監査役田中省二の各氏は会社法第2条第16号に定める社外監査役であります。
なお、当社は、安永紀雄、田中省二の両氏を株式会社東京証券取引所の定めに基づく独立役員として指定し、同取引所に届け出ております。
3.平成25年6月25日開催の第89期定時株主総会において、新真司ならびに岩崎淳の両氏は新たに取締役に選任され就任いたしました。
4.平成25年6月25日開催の第89期定時株主総会において、木元誠剛氏は新たに監査役に選任され就任いたしました。
5.平成25年6月25日開催の第89期定時株主総会最終の時をもって、石田勝久氏は監査役を任期満了により退任いたしました。

株式の状況 (平成25年9月30日現在)

■ 発行可能株式総数	696,037,000株
■ 発行済株式総数	229,740,814株 (自己株式109,122株を除く)
■ 単元株式数	1,000株
■ 株主数	29,641名
■ 大株主 (上位10名)	

大株主の氏名	所有株数 (千株)
株式会社みずほ銀行	10,708
三井住友信託銀行株式会社	10,600
農林中央金庫	8,687
中セキ株式保有会	5,903
株式会社伊予銀行	5,800
株式会社損害保険ジャパン	4,888
三井住友海上火災保険株式会社	4,193
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	3,811
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	3,567
共栄火災海上保険株式会社	3,527

株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月下旬
基準日	定時株主総会・期末配当：毎年3月31日
株主名簿管理人	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
特別口座の口座管理機関	東京都千代田区丸の内一丁目4番1号 三井住友信託銀行株式会社
郵便物送付先 (電話照会先)	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部 電話 0120-782-031 (フリーダイヤル) 取次事務は、三井住友信託銀行株式会社の全国各支店で行っております。

- ・住所変更、単元未満株式の買取のお申し出先について
株主様の口座のある証券会社にお申出ください。
なお、証券会社に口座がないため特別口座が開設されました株主様は、特別口座の口座管理機関である三井住友信託銀行株式会社にお申出ください。



当社ホームページアドレス
<http://www.iseki.co.jp/>